

『全少』を日本一研究する指導者による提案

# ZENSHOに 挑戦しよう!



第93回

養正館館長 渡辺貴斗



## ウチの子、もしかして発達障害? (その9) ウチの子、天才!?

### ★発達障害の光と影

前回まで、発達障害の影の部分について述べてきましたが、これら短所は全て裏返すと長所であるともいえます。今回は視点を変えて、異なる角度から見た“光の部分”のお話をして各論を締めくくりたいと思います。

ITをはじめとするベンチャービジネス起業家の多くはADHDだと言われています。これは、ADHDの一つの特徴である“衝動性”が関与していると考えられます。凡人は、起業するときに失敗するのではないかと石橋を叩いてなかなか踏み出せないものですが、彼らは衝動的に後先考えずに起業してしまいます。絶妙のタイミングで起業し、部下に思い切りのよい采配を続け、業界で大成功してしまうわけです。このように、発達障害の特徴は長所でもあるといえるのです。それでは、発達障害の特徴をひとつずつ紐解いていきましょう。

### ★ ADHD の特徴

「多動」はADHDの典型的な特徴ですが、落ち着きなく常に動きまわったり、しゃべり続けたりする障害で、周りからはふざけてばかりいるように見えます。裏を返せば、面白くて、明るく活発、誰とでも仲良く話せるグループのムードメーカーです。好奇心旺盛、アイデアマンで、凡人には思いもつかない、革新的な仕事ができるでしょう。人が好きなので、対面販売や営業の仕事も向いているかもしれません。

「衝動性」は、考えずにいきなり行動してしまう障害ですが、先に述べました起業家の例のように、周りが躊躇している間に、自分だけチャンスをつかむことができるでしょう。判断のスピードが格段に

速く、決断力、行動力があると言えます。ベンチャービジネスの起業などには、不可欠な要素です。私はビビリなので、ベンチャービジネスの起業などは絶対に無理です。先のことまで考えて不安になってしまい、石橋を叩きすぎて割ってしまうタイプです。

「不注意」は、あることに注意を向け、それに集中することが難しい（つまり飽きっぽい）障害です。神経質な人から見たら、適度にいい加減で嫌なこともすぐに忘れることができるので、うらやましい特性です。飽きっぽいので、いろんなことに興味を持ち、常にアンテナを張っていますので、誰も気付かないような変化にも気付きます。新しいことに興味を持ちますので、発想豊かな芸術家、デザイナー、広告の企画アイデア、ゲームのプランナーなどの仕事で、独創的・斬新なアイデアを生み出し、成功することでしょう。

### ★自閉症スペクトラム障害の特徴

「こだわりがある」という特徴ですが、自閉症やアスペルガーは、大好きな虫を3時間でも平気で見続けたり、野菜は絶対に食べない、毎日必ず同じ道順で家に帰るなど、徹底したこだわりを見せます。凡人にとっては長時間の継続は苦痛ですが、彼らは自然にできてしまうので、外からは「粘り強く最後までやり遂げる特殊能力」として見えます。

興味の無いことには一切集中できませんが、自分の好きなことには、過集中といって異常なほど集中します。もし、自分の好きなことに早い段階で出会えたら、その道の世界的なプロフェッショナルになっていることでしょう。研究者、学者のような専門知識が必要な職業に向いています。

「人の気持ちが分りづらい」という特徴は、暗黙

の理解が分からない、空気が読めない、つまり人と上手に付き合えない、といった障害です。しかしながら、周りを付度したり、他人から影響を受けたりしませんので、独自性を保つことができ、オリジナリティを発揮することができます。また、ぼっちでも平気です。一人でも寂しくなく、毎日同じことの繰り返しで安心します。自ら他人との関りを減らすので、生活に大きな変化が起こりません。自分の世界に入って好きなことに没頭します。「普通の人と同じでなければならない」という外野からの雑音さえ聞こえてこなければ、案外、平和で充実した日常を送れます。

モーツアルト、ダ・ヴィンチ、アインシュタイン、エジソン、ピカソ、スティーブ・ジョブズ、ビル・ゲイツ、イーロン・マスク、トム・クルーズ、黒柳徹子など、天才と呼ばれる人たちの多くは、典型的な発達障害の特性を持っていた（いる）とされています。とはいえ、発達障害だからみんな天才になれるというわけではありません。天才になれる素質を持っているだけだ、ということです。うまく特性を生かせば（つまりしっかり努力すれば）、凡人には到達できない偉業を成し遂げることができるのです。これは立派な特殊能力と言えますね。

### ★発達障害児の明るい未来 これは特殊能力だ！

ライフネット生命の創業者出口治明氏は著書『任せ方の教科書』で、部下の教育と人事について「その人に向いている仕事を任せただけで成果は望めません」と言っています。

つまり、無理にマルチプレイヤーを作る必要は無い、適材適所にその道に長けた能力のある社員を配置して、あとは任せれば良いということです。全社員に苦手なことを克服させるのではなく、誰にも負けない鋭く尖った才能を育てていけばよいのです。チーム全員で、合わせて一人のマルチプレイヤーのような感じです。そうすれば一人一人がマルチプレイヤーになる必要はありません。

苦手なことを克服するには、負のエネルギーを多く使いますね。苦手なことは嫌々やりますから、会社全体としては大きなマイナスです。「とにかく、好きなこと、得意なことだけやってる！」ということです。

あなたが社長だったら、「微妙に営業ができて、かつ微妙にパソコンもできる普通の大卒」より、「コ

### 映画でテーマとなった「サヴァン症候群」

「サヴァン症候群」とは、自閉症を持ちながら何か突出した才能を持つ人で、自閉症の10人に1人の割合で存在します。小説や映画などのテーマとなることがあります。

昭和世代のみなさん、映画『レインマン』を覚えていますか？ サヴァン症候群の中には、驚異的記憶力、驚異的計算能力などいろいろありますが、映画の中のレイモンドは「驚異的記憶力」に長けており、電話帳のA～Gまでの名前と電話番号を全部記憶したり、床に落ちた楊枝の本数も一瞬で数えてしまいます。

レイモンドのモデルとなった実在した人物、キム・ピークは、9000冊以上の本を記憶していたといいます。方法は、カメラのように見たものを画像化し、頭の中に入れておいていつでも見ることができたようです。この方法なら確かに、楊枝の数も数えられますし、9000冊の内容も覚えられますね。ドラえもんの暗記パンと同じ原理です。

映画『マーキュリー・ライジング』では、サヴァン症候群のサイモン君が高度な暗号を一瞬で解く天才少年として描かれています。

デストラップ系ホラーの先駆けといわれている「CUBE」では、サヴァン症候群のカザン君が3桁の素因数分解を一瞬で解き、仲間に大きな貢献を果たします。一般向けではないので、よい子は大きくなってから観てくださいね。

ミュ障だけど世界レベルのパソコンエキスパートの「中卒」の方が、魅力的な人材だと思いませんか？ 自閉症と言われている、台湾のデジタル担当大臣に抜擢された天才オードリー・タンは、まさにそんな感じでした。最先端デジタル技術を駆使して、台湾のコロナ封じ込め作戦に大きく貢献しました。ちなみに彼（現在は改名し女性）も中卒です。

そのためには、上に立つ人が考え方を改めなくてはなりません。社会全体の価値観の刷新が必要です。これからの時代は、何でもできるマルチプレイヤーを作る昭和のやり方ではなく、個々人のユニークな能力を引き出し、それを適材適所に配置していくリーダーシップが求められることでしょう。近未来では、特殊能力に長けた発達障害の人たちはどの分野でも引っ張りだこになっていて、自分の得意な分野で、活き活きと活躍していることでしょう。

### PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から父である館長から空手の手ほどきを受ける。児童心理学や成功哲学を研究して子どもたちの「心をつくる」指導法に切り替え、2013年5名、2014年・2015年7名、2016年5名、2017年9名、2018年・2019年5名を全少入賞させ、一道場での全国最多入賞を連続で記録する。道場経営でも、一道場で350名を超える大躍進を続ける。



空手道場 養正館 / 静岡県沼津市本田町 11-12